

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1142		
科目名	国家と法		
担当教員	田上 雄大		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 1		
講義室	1311	単位区分	必,選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 〔市民的素養・市民的教養〕 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP7-C 〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP3-H 〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加(50%) C1 倫理的思考・社会認識(20%) H1 論理的思考(15%) I1 理解・分析と読解(15%)		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 2 進行情期～3 発展期		
科目概要・キーワード	近代国家が成立する過程で法がいかなる機能を果たしてきたかを概観し、とくに憲法と国家との関係を講じます。また、日本国憲法の基本原則である、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の今日的意義を講じます。国家と人との関わりのなかで、民主制を支える参政権の課題、自由権および社会権の保障のあり方、立法・行政・司法という三権分立の意義などを論ずることによって、社会が抱えている諸問題の解決策が自ら見いだせる力をつけさせることを目標とします。 授業形態は（講義）形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）国家、憲法、公法、国民主権、法治国家		
授業の趣旨	■副題 憲法とは何か、中学・高校での憲法との学びの違い ■授業の目的 国家と法、特に憲法との関係を中心に、国家における憲法の基本概念を習得することを目的とします。		

	■授業のポイント 憲法理解するには、国家とは何か、すなわち国家論なくして憲法を語ることはできません。そこで、まず国家論を理解し、憲法と国家はどのような関係にあるのか、なぜ国家に憲法を必要とするのかといった歴史的展開から、憲法による人権保障、国民主権の意味、平和主義などといった基本原理を理解し、憲法と国家の関係について考えます。								
総合到達目標	■憲法とは何かを理解できる。 ・憲法の歴史が説明できる。(第1回～第3回) ・人権について説明できる。(第6回～第11回) ・統治機構について説明できる(第12回～第14回) ■憲法の基本原理について理解できる。 ・人権保障の仕組みについて説明できる。(第2回、第6回～第11回) ・平和主義について説明できる(第5回) ・国民主権、民主主義、象徴天皇制について説明できる。(第4回) ■憲法だけでなく、行政法といった公法に属する諸法律について説明ができ、危機管理においてどのような法が関連するのか理解できる。 ・公共の福祉について説明できる。(第6回～第11回) ・国家権力がどのように行使されるか説明できる。(第12回～第14回) ・危機管理における権力行使のあり方について説明できる。(第2回～第14回)								
成績評価方法	成績評価手段 レポート2回(60%)：適用ルーブリック C1・D1・H1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるか。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。 授業内テスト1回(40%)：適用ルーブリック D1・I1・H1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、判例六法を使いながら論理立てて明確に自分の考えを示せるか。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。								
履修条件	特になし								
履修上の注意点	特になし								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション ②授業概要：授業概要、授業の目的と進め方、到達目標、成績評価方法について説明を行います。 (ガイダンス) 六法の使い方、参照条文の意味などの理解すること目的とします。 (イントロダクション) 国家と憲法の関係、憲法の意味、憲法の成り立ち(D1・C1) ③予習(120分) 『判例六法』(有斐閣)で憲法の条文を読んでくる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、目的や到達目標を確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 憲法総論(憲法の歴史、基本原理) ②授業概要 憲法は国家の基本となる法です。そこで、立憲主義や憲法の基礎となる原理を中心に講義し、なぜ国家に憲法が必要なのか、憲法はどのように誕生したのか、立憲主義とはどのようなものなのかについて考察します(D1・C1)。さらに、近代以降成立した憲法の特徴について取り上げ、いかにして現在の憲法あるいは立憲主義が構築されてきたかを理解することを目的とします(D1・H1・I1)。 ③予習(120分) 教科書『プラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』(成文堂)の第1章と第3章を読んでくる。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、国家と憲法の関係と歴史、立憲主義の本質について、国家という社会の枠組みを通して考える。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 日本憲法史 ②授業概要 憲法は、欧米で誕生したものです。明治になり日本も憲法を制定し、憲法を頂点とした法体系を整えた。そこで、明治憲法といわれる大日本帝国憲法の制定に至るまでの歴史やその内容を理解した上で、現行憲法である日本国憲法の成立過程について考察します(D1・C1)。両憲法はどのような特徴があり、また違いがあるのかを理解すること </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション ②授業概要：授業概要、授業の目的と進め方、到達目標、成績評価方法について説明を行います。 (ガイダンス) 六法の使い方、参照条文の意味などの理解すること目的とします。 (イントロダクション) 国家と憲法の関係、憲法の意味、憲法の成り立ち(D1・C1) ③予習(120分) 『判例六法』(有斐閣)で憲法の条文を読んでくる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、目的や到達目標を確認する。	2	①授業テーマ 憲法総論(憲法の歴史、基本原理) ②授業概要 憲法は国家の基本となる法です。そこで、立憲主義や憲法の基礎となる原理を中心に講義し、なぜ国家に憲法が必要なのか、憲法はどのように誕生したのか、立憲主義とはどのようなものなのかについて考察します(D1・C1)。さらに、近代以降成立した憲法の特徴について取り上げ、いかにして現在の憲法あるいは立憲主義が構築されてきたかを理解することを目的とします(D1・H1・I1)。 ③予習(120分) 教科書『プラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』(成文堂)の第1章と第3章を読んでくる。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、国家と憲法の関係と歴史、立憲主義の本質について、国家という社会の枠組みを通して考える。	3	①授業テーマ 日本憲法史 ②授業概要 憲法は、欧米で誕生したものです。明治になり日本も憲法を制定し、憲法を頂点とした法体系を整えた。そこで、明治憲法といわれる大日本帝国憲法の制定に至るまでの歴史やその内容を理解した上で、現行憲法である日本国憲法の成立過程について考察します(D1・C1)。両憲法はどのような特徴があり、また違いがあるのかを理解すること
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション ②授業概要：授業概要、授業の目的と進め方、到達目標、成績評価方法について説明を行います。 (ガイダンス) 六法の使い方、参照条文の意味などの理解すること目的とします。 (イントロダクション) 国家と憲法の関係、憲法の意味、憲法の成り立ち(D1・C1) ③予習(120分) 『判例六法』(有斐閣)で憲法の条文を読んでくる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、目的や到達目標を確認する。								
2	①授業テーマ 憲法総論(憲法の歴史、基本原理) ②授業概要 憲法は国家の基本となる法です。そこで、立憲主義や憲法の基礎となる原理を中心に講義し、なぜ国家に憲法が必要なのか、憲法はどのように誕生したのか、立憲主義とはどのようなものなのかについて考察します(D1・C1)。さらに、近代以降成立した憲法の特徴について取り上げ、いかにして現在の憲法あるいは立憲主義が構築されてきたかを理解することを目的とします(D1・H1・I1)。 ③予習(120分) 教科書『プラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』(成文堂)の第1章と第3章を読んでくる。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、国家と憲法の関係と歴史、立憲主義の本質について、国家という社会の枠組みを通して考える。								
3	①授業テーマ 日本憲法史 ②授業概要 憲法は、欧米で誕生したものです。明治になり日本も憲法を制定し、憲法を頂点とした法体系を整えた。そこで、明治憲法といわれる大日本帝国憲法の制定に至るまでの歴史やその内容を理解した上で、現行憲法である日本国憲法の成立過程について考察します(D1・C1)。両憲法はどのような特徴があり、また違いがあるのかを理解すること								

	を目的とします（D1・H1）。 ③予習（120分） 『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第2章を読んでくること。簡単に両憲法の歴史について理解しておかなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、日本への憲法導入や日本における立憲主義の変遷、両憲法の違いについて考える。
4	①授業テーマ 国民主権と象徴天皇（民主主義も含む） ②授業概要 日本では、主権は国民にあります。日本国憲法において国民主権をどのように規定し、捉えているのか考察します（D1・C1）。同時に、主権者国民の総意によって天皇が象徴として存在します。戦前は統治権の総覧者として存在し、同じ天皇でもどのように違うのか、また国民主権の元で象徴天皇はどのような役割や権能を有するのかを考察し、日本の統治機構の基礎的部分について理解することを目的とします（D1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）第3章第2節、第5章第1節を読んでこなければならぬ。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、日本国憲法における主権の捉え方、天皇のあり方について考える。
5	①授業テーマ 平和主義と憲法9条 ②授業概要 日本国憲法は平和主義を掲げ、その具体化したのが9条であります。憲法9条は、どのような経緯で作られ、そして現在に至るまでどのように解釈されてきたのか概観し、日本の安全保障政策の変遷や自衛隊の創設といった憲法9条の変化を考察します（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第5章第7節を読んでこなければならぬ。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、憲法9条の下でできる安全保障政策や危機管理システムの構築について考える。
6	①授業テーマ 人権総論 ②授業概要 人権の歴史や意味・内容といった基礎的事項に関して考察します（D1・C1）。人権は、尊い存在であるといわれています。人権はどのようにしてできたのか、その人権はどのような意味や内容であるのか、日本国憲法上の人権を享有する主体は誰なのか、といったことから人権の全体構造を理解することを目的とします（D1・H1）。1回～6回までの内容を確認するため、レポートを実施します（C1・D1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第1節から第5節を読んでこなければならぬ。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、人権とはどのようなものなのか、人間にとって必要不可欠である意味について考える。
7	①授業テーマ 思想及び良心の自由と信教の自由 ②授業概要 日本国憲法上の各人権の基礎的内容を概観します。まず憲法19条は思想及び良心の自由、20条に信教の自由が規定されています。これら二つの人権は、なぜ誕生したのか、そしてその内容や限界について判例を通じて理解することを目的とします（D1・C1）。6回のときに実施したレポートの解説を行います（C1・D1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第6節を読んでこなければならぬ。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、重要判例といわれるものについて調べ、いかにして限界を設けるかについて考える。
8	①授業テーマ 表現の自由と学問の自由

	②授業概要 憲法21条に表現の自由、23条に学問の自由が規定されています。これらの人権の意味、内容そしてその限界について考察します（D1・C1）。特に限界については、判例を中心に検討を行います（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第7節第3項、第4項を読んでこなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、表現の自由の重要性、学問の自由の射程範囲を確認し、重要判例といわれるものについて調べ、これらの制約する限度について考える。
9	①授業テーマ 経済的自由 ②授業概要 経済活動の自由を保障する経済的自由について概観します（D1・C1）。経済的自由の内容を理解し、その限界を判例を通して考察します（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第8節を読んでこなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、経済的自由の規制について考える。
10	①授業テーマ 社会権 ②授業概要 生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、労働基本権といった日本国憲法上の社会権について概観します（D1・C1）。社会権の内容を理解し、その限界を判例を通して考察します（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第10節を読んでこなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、社会権の法的性格や判例について考える。
11	①授業テーマ 人身の自由と国務請求権 ②授業概要 人身の自由の憲法上の具体的な内容、国務請求権の内容について概観し（D1・C1）、その意味や意義について考察をします（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第4章第9節、第11節を読んでこなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、人身の自由や国務請求権について理解し、意味や意義について考える。
12	①授業テーマ 国会－立法 ②授業概要 国家権力は三権に分けるとする三権分立を憲法が採用しています。その一つである立法権について概観し（D1・C1）、立法権を担う国会の存在意義や組織などの基礎的事項について理解することを目的とします（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第5章第2節を読んでこなければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、立法権の意味、国会の存在意義や組織などを理解しなければならない。
13	①授業テーマ 内閣－行政 ②授業概要 法律等を執行する行政権について概観し（D1・C1）、行政権を担う内閣の存在意義や組織、議院内閣制や各大臣の権限などの基礎的事項について理解することを目的とします（H1・I1）。7回～13回までの内容を確認するため、レポートを実施します（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第5章第3節を読んで

	こななければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、内閣の存在意義や議院内閣制について理解し、各大臣の憲法上の権限や行政権の意味について考える。
14	①授業テーマ 裁判所－司法 ②授業概要 法を適用し、具体的事件を解決する司法権について概観し（D1・C1）、司法権の範囲や司法権を担う裁判所の組織や権限などの基礎的事項について理解することを目的とします（H1・I1）。13回のときに実施したレポートの解説を行います（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂）の第5章第4節を読んでこななければならない。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、司法権の範囲や裁判所の組織や権限について理解しなければならない。
15	①授業テーマ 国家と法のまとめ ②授業概要 14回の授業で学んできたことを総括し、憲法と国家について確認するため授業内試験を実施します（1時間、D1・I1・H1）。授業内試験終了後、試験内容について解説を行います（30分）。 ③予習（120分） 講義ノート全体を読み直す。 ④復習（120分） 講義ノートを読み返し、今後履修する憲法と人権、立憲主義と統治などの公法系科目について考える。
関連科目	市民と法（RMGT1141）
教科書	高乗正臣・奥村文男編『ブラクティス法学実践教室Ⅱ〔憲法編〕』（成文堂） 『判例六法（最新版）』（有斐閣）
参考書・参考URL	伊藤正己『憲法入門』（有斐閣）、東裕編『憲法入門講義』（一藝社）、斎藤康輝・高畑英一郎編『憲法』（弘文堂） 初宿・高橋・米沢・棟居『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣）
連絡先・オフィスアワー	開講時に告知します。
研究比率	

